

I - 3 志教育全体計画

<p>宮城県教育振興基本計画 ・夢と志を持ち、その実現に向けて自ら考え行動し、社会を生き抜く人間を育む</p> <p>塩竈市教育重点施策 ・豊かな心を育む教育の充実～志教育の推進～</p>	<p>学校教育目標 自律と思いやりの心をもち、志を確立し未来を拓く子どもを育成する</p>	<p>児童の実態 ・明朗、素直 ・礼儀正しい ・耐性の不足</p> <p>保護者や地域の願い ・善悪の判断力 ・社会性</p>
<p>「志教育」の目標 夢や目標を持ってこつこつと粘り強く努力する子どもの育成</p>		

志教育の3観点		
<p>人と「かかわる」</p> <p>【低学年】 ○挨拶や返事を元気にする。 ○友達と仲良く遊び、助け合うことができる。</p>	<p>よりよい生き方を「もとめる」</p> <p>【低学年】 ○自分の好きなことを見付け、伸び伸びと活動する。 ○身近で働く人に興味を持つ。</p>	<p>社会での役割を「はたす」</p> <p>【低学年】 ○自分のことは自分でする。 ○係や当番の活動に、積極的に取り組む。</p>
<p>【中学年】 ○挨拶や返事を、心を込めてする。 ○友達の気持ちや考え方を理解し、協力して学習や活動ができる。</p>	<p>【中学年】 ○自分のよさを見付け、興味を持ったことに進んで取り組む。 ○人には、様々な生き方があることを理解する。</p>	<p>【中学年】 ○自分の仕事に対して、責任を持って最後までやり遂げる。 ○係や当番の活動を、自分たちで工夫を加えながら進める。</p>
<p>【高学年】 ○時と場をわきまえた挨拶や返事ができるようにする。 ○誰に対しても思いやりの気持ちを持った行動をし、学校全体のことを考えた行動ができるようにする。</p>	<p>【高学年】 ○自分と相手の個性に気付き、互いに認め合って自分らしさを発揮する。 ○将来の夢や目標を持ち、今すべきことを考える。</p>	<p>【高学年】 ○学級・学校生活をよりよくしようとする意欲を持って委員会活動等を進める。 ○施設見学や体験活動を通して身近な産業・職業の様子を知り、勤労の尊さに気付く。</p>

全学年共通の重点	
趣 旨	目標達成のために人と助け合い（社会性）、自分の役割を果たそうとする意欲（勤労観）を育む。
通 年	①立ち止まってのあいさつプラス1（社会性） ①清掃（勤労観）②係活動（勤労観）③委員会活動（勤労観）
1 学期	1年生を迎える会（社会性と勤労観） よしこの塩竈（地域貢献） 縦割り遊びまつり（社会性と勤労観）
2 学期	6年生を送る会（社会性と勤労観）
留意事項	①目標を設定させる。（努力すれば達成できる適切な負荷のある目標） ②人のため、学校のため、地域社会のためという視点を育む。 ③「話し合う（PLAN）→行う（DO）→振り返る（SEE）」学習過程を重視する。

各教育活動における取組			
取組の観点	各教科	道 徳	総合的な学習の時間
	○基礎・基本の定着と学ぶ意欲を向上させる。 ○体験的学習と課題解決型学習の推進を図り、学習に根気強く取り組ませる。 ○学習内容を生活と関連付け、それが将来に結び付くことを理解させる。	○基本的な生活習慣の育成を図る。 ○目標に向かって努力する態度を育成する。 ○勤労の尊さに気付かせ、将来の夢や希望を持たせる。	○課題発見能力や課題解決能力の向上を図る。 ○施設見学や体験活動を通して、地域の人々との交流を図る。 ○異学年交流や地域との触れ合いを通し、自主性や社会性を育てる。 ○防災教育を推進する。
具体的な取組例	・読書活動（伝記を読む） ・朗読発表会 ・持久走記録会 ・縄跳び大会（記録会） ・専門家の話を聞く特別授業（美術家、消防署職員、ヴァイオリニスト、俳人、塩竈市環境課職員、東北農政局職員、大学特任教授、写真家等）	・一小合い言葉「明るい挨拶、靴箱の整理整頓」 ・奉仕活動（除草作業、学校周辺清掃活動、6年奉仕活動） ・道徳（各学年）「地域の偉人に学ぶ」「みやぎの先人集」	・塩竈みなと祭への参加 ・地域産業体験学習：3年（魚市場、かまぼこ工場） ・地域環境体験学習：4年（清掃工場、新燃料工場） ・農業体験学習：5年（お米教室） ・修学旅行：6年（会津と塩竈市の文化の比較、伝統工芸品製作） ・県教委副読本「絆」活用
			特別活動
			○心身の調和の取れた発達と個性伸長を図る。 ○係活動、委員会活動、各種行事から集団の一員としての自覚を持たせる。 ○協力的な態度の育成と自主的・実践的な行動の形成を目指し、自治的活動を推進する。
			【学級活動】 ・当番、係活動 【学校行事】 ・運動会 ・学習発表会 【児童会行事】 ・1年生を迎える会 ・縦割り遊びまつり ・6年生を送る会 ・委員会活動 【クラブ活動】 ・クラブ活動（年10回）

<p>家庭との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「はやね はやおき 朝ごはん」の啓発と一層の推進 ○学校・学年・学級便りを活用した保護者との連携・信頼の強化 ○学校評議員との連携、及び学校評価の実施と活用
--

<p>地域・企業等との協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域人材による外部講師招聘 ○スクールガードリーダー、子ども安全サポーターとの連携 ○地域人材を活用したトランペット鼓隊、みどりの少年団の運営
